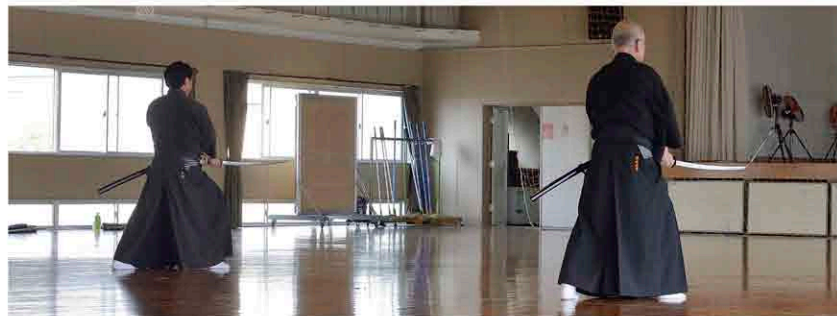
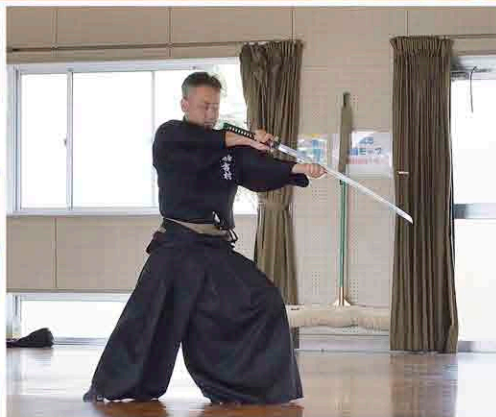


『令和六年田宮流春期講習会』



令和6年4月7日松田体育館にて、暖かいが薄曇りの春の陽気の中、田宮流居合術心剣放光会主催の講習会がおこなわれました。

神明会から参加された9名の皆様お疲れ様でした。

午前中は組太刀（相手を付けて撃ち合う二人一組の形稽古）『太刀態』3本を稽古し、仕掛ける人（受太刀）と技を使う人（主太刀）の両方を学びました。

また今回、田宮流居合術の基本的な考え方を今後統一してゆきたいとのお話もありました。

田宮流居合術も古流武術の立ち位置で後ろ足の踵を床につけるか、全剣連居合の様に現代剣道の足捌きで両足を平行にし、踵を上げると言う事でも違いがあったりします。正しい形とは難しいですね。午後からは、奥居合『虎乱の巻』の大まかな技の紹介といった講義があり奥居合も伝えて来た先師達の解釈が色々ありまして・・・どのような状態からでも、逆足でも自在に刀を扱える技量の持ち主になるべく流派至極の剣技『虎乱の巻』は難解ですね。

帰り道々、平塚の黒毛和牛ハンバーグのお店「勝牛」様で晩ご飯を頂きながら、今後の神明会の運営を担う役員を決める話し合いをしました。決定人事はグループラインでご報告済みです。

